

貯蓄から投資へ ファイナンシャルプランナーがお伝えする

株式投資セミナー

参加費
無料

● 3月のセミナーでは

グラフを使いアメリカ・中国・日本・OPECの
グローバル経済指標の現状を解説し、
株式・為替についてご説明いたします。

2019年 **3月31日（日曜日）**
13:30～15:00

*要予約 お申込みは3月28日まで 定員になり次第締切り 受付は開始15分前



株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル
セミナールーム（参加人数により3FまたはB1）

協力：株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル
〒220-0005 横浜市西区南幸2-20-5東伸24ビル3階
ホームページ <http://aip-financial.com/>

金融商品仲介業者 関東財務局長(金仲)第314号

お申し込みは・・・電話・FAX・メールにてお願いいたします。 お問合わせ解説担当：上原

電話：045-329-7159 FAX：045-311-7133

メール：t.uehara@aip-financial.com 電話は平日のみ 9:00～17:00

※ お名前・〒ご住所・お電話番号をお知らせをお願いします。
お申込み確認後、「受付票」をご郵送いたします。当日ご持参ください。

ふりがな お名前			
ご住所	〒	—	都・県 区・市
	区・町		
TEL: Eメール	—	—	@

FAX



■株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル 個人情報の利用目的■

ご記入いただきましたお客様の個人情報は、株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル(以下弊社)及び関連会社のセミナー・商品サービスのご案内など、弊社の利用目的の範囲内で利用させていただきます。なお、弊社における個人情報の利用目的の詳細は弊社WEBサイト (<http://aip-financial.com/privacy/index.html>)に記載されている「個人情報保護方針」をご確認ください。

各種、**経済指標のグラフ**を見ながら マーケットの現状を確認し、「株式投資」への取り組み方をご説明するセミナーです。

2008年9月の、リーマン・ショックから10年を超えました。
その後の超金融緩和策が「世界的なカネ余りと緩やかな景気拡大」をもたらし、この間に日経平均株価も2倍以上になりました。
米国においては景気拡大期が今年7月に過去最長記録を更新する見通しです。
しかし米国では、金融政策の正常化に対する方策がとられてますが、
更なる金利引き上げのペースについてFRBによるマーケットとの対話に
ずれが生じると過去10年続いた安定成長期から、株価下落を伴う景気停滞期へ
移行する可能性もあります。

“要注意シグナル3つ”

景気の現状把握に間違いがあれば

「物価高→断続利上げ→景気失速」という流れに陥る可能性もあります。

投資環境が悪化へ転じる予兆を、どのような点に見い出せるか。

①米国の長短金利が逆転

米国の長短金利が昨年に一時逆転しました。逆転すると景気後退を織り込み、
株価が反落しやすい点にも注意が必要です。

②米国中央銀行の資産圧縮は、

今年に入り米国中央銀行が資産縮小を年内に中止？の様相だが今後のFRBの方針。

③米中貿易摩擦の行方

今年の中国全国人民代表大会にて経済成長率の目標を「6~6.5%」に
引き下げることを発表しました。貿易摩擦の交渉やハイテク分野の覇権もあり
中国経済が世界へどのような影響を与えるかが注目されます。

トランプ米政権が、米中貿易摩擦・税制改革・インフラ投資・移民規制・
在イスラエル米大使館移転、さらに北朝鮮外交まで選挙対策の一環としないか注視されます。

- 国外から見たドル建て日経平均は？
- 裁定買い残から判断する海外ヘッジファンドの動きは？



解説者

株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル
ファイナンシャルプランナー
上原 孝志



職歴：三菱UFJモルガン・スタンレー証券
SMBC日興証券

●当セミナーにおいては個別銘柄の推奨や勧誘は一切ございません。株式・投資信託等の投資元本は保証されているものではなく、価格変動・信用・為替・流動性・カントリーリスク等のリスクを主因として、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。